

～知ってください 考えてください～ 土岐市の財政のこと

このコーナーでは、財政の仕組みや本市の実情についてお知らせします。

総務課財政係 内線226・227

第4回 収入のこと ③市債

市の収入には、市債（地方債）と呼ばれるものがあります。すなわち市の借金のことです。市が行うまちづくり事業には、学校や公民館などの建設や道路・公園・下水道の整備などの社会基盤整備があります。これらの事業を行うためには、一時的に多額な資金が必要となります。この資金を賄うために、市が国や銀行などから借入れをするのです。

市債を借り入れるのは、単年度の負担が大きくなりやすいようにするというのと、次の世代まで使うことができる施設などは今の人たちの負担だけで整備するのではなく、次の世代の人たちにも負担をしてもらうことで世代間の公平を図るという目的もあります。

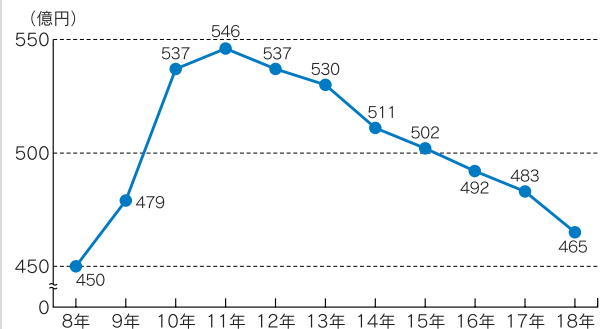
一方で、市債を借り入れるということは、当然ながら返済が必要となるので、過度な借り入れは将来にわたって財政を圧迫することになります。本市の市債残高はどのようになっているのでしょうか。一般会計のほか、すべての会計で借り入れた市債残高の推移は、右のグラフの通り平成11年度をピークに減少の傾向にあります。

次にほかの自治体と比べて多いのか少ないのかという視点で平成17年度末の人口一人当たりの市債残高を近隣市と比較しますと、本市が776,846円であるのに対し、多治見市は472,950円、瑞浪市は775,065円で

した。本市の特徴として、下水道事業のために借り入れた市債の額が多いという点が挙げられます。これは、市民の皆さんが快適な生活を送るために、下水道事業を最重要課題として積極的に取り組んできたためですが、面積の約70%が丘陵地であることから整備にかかる費用が増大したという特殊な事情もありました。

これから先は少子高齢化に伴って福祉分野の経費が増大していくことは明白ですし、市税収入に大きな影響を与える地場産業も依然として厳しい状況にあります。今後の借り入れについては、将来の財政を圧迫することのないよう、長期的な視野に立って計画的に行っていかなければなりません。

市債残高（一般会計・特別会計・企業会計の合計）の推移



土岐市地域医療協議会と市では、「健康を守る市民の集い」を開催します。この催しは、食生活や医療、運動など、暮らしの中のさまざまな視点から健康を考えていこうというものです。

すこやかな長寿社会を目指して

第33回

健康を守る市民の集い

場所

セラトピア土岐

日時

10月21日(日)
午前10時10分～午後3時

ご家族おそろいでお出掛けください。

詳しくは、本紙10月1日号と同時に全戸配布するチラシをご覧ください。

主な催し

- 健康相談コーナー
- 歯科コーナー
- 薬のコーナー
- 食生活改善コーナー
- 栄養相談コーナー
- 救急指導コーナー
- 学校給食センターコーナー
- 小学生の健康ポスター・絵画展
- 各種測定など
- 子どもの遊びのコーナー

詳しくは、保健センター
(0552010)へどうぞ。